

コロナウィルス対策
助成金項目

『簡易陰圧装置』

のご案内



株式会社パーティクルプラス

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-6-8 新宿鈴木ビルB館3F

TEL:03-6274-8308/FAX:03-6274-8309

コロナ助成金項目《簡易陰圧装置》の定義について

厚生労働省：平成21年度主要税制改正項目の概要

1 簡易陰圧装置とは

病院において、感染症の2次感染のリスクを低減させるためには、病原菌などが外に漏れないよう、気圧を低くした病室である「陰圧室」の設置が有効である。

しかしながら、陰圧室の設置には大規模な改築が必要となり、多大なコストがかかることとなる。

簡易陰圧装置は、一般病室に装置を据えて簡易的なダクト工事をするだけで、陰圧室に帰ることが可能とする装置である。

2 導入コスト

約200万円（設置費用含む）



助成対象の背景

『空気清浄機』とは、空間の空気の浄化機能を持つ装置で、使用環境としては、一般エリアから病室まで広く定義されている

その中で『陰圧対応可能なもの』は簡易的に対象室を陰圧化できる程度の解釈であり、陰圧室に定義されているところまでは求めている事が判る

その一方で、『簡易陰圧装置』は、陰圧室と同じく『感染症の2次感染のリスクを低減させる為に、病原菌などが外へ漏れない様、気圧を低くした病室』と定義されている

陰圧室の設置に大規模な改築とコストが必要になる点においての解釈は、正式な陰圧室を製作しようとする、**『給気系統』**及び**『前室の設置』**、**『エアタイト自動扉の設置』**など**莫大な費用と建築の改築が必要**になるからである。

【助成金上限額】	HEPA フィルター付き空気清浄機(陰圧対応可能なものに限る) 905,000円(1施設)
	簡易陰圧装置 4,320,000円(1床)

陰圧室と簡易陰圧室の違い

比較項目	陰圧室(新設)	簡易陰圧室(既存室利用)
換気量	12ACH ↑	6ACH ↑
給気量	2ACH ↑	—
前室	必要	—
自動扉	必要	—
陰圧度	Δ2.5Pa ↑(前室に対して)	Δ2.5Pa ↑(一般通路に対して)
その他	WC・シャワー室完備(陰圧対策要) 滅菌手洗い必要	既存室設備のまま

簡易陰圧装置設置事例《個室》

室内設置状況①(壁貫通)



室内設置状況②(天井貫通)



外構施工状況



ココがポイント

ダクト設置の方法は3つ、①壁貫通方式、②天井裏からの壁貫通方式、③窓ガラスからの貫通になります
ダクトは防虫・防鳥網をつけて異物の侵入を防止します

簡易陰圧装置設置事例《6人部屋》

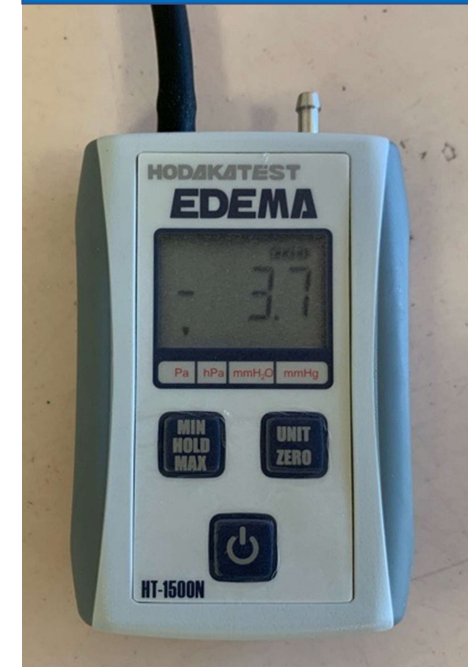
屋外設置風景



操作パネル部(防水仕様)



陰圧度計測結果



ココがポイント

多床室用は室内に十分な設置スペースが確保し辛い、送風音が一般生活基準値を超える為、屋外設置にします
運転操作部は防水仕様とし、フィルターの目詰まり具合に合わせて運転レベルが調整できるようにしてます
100%の運転で陰圧度は $\Delta 13.5\text{Pa}$ 、現状は70%の運転で $\Delta 3.7\text{Pa}$ の陰圧度が出せました

簡易陰圧装置の設置ご相談承り☑

当社では、『個室』のみでなく、
『多床室』まで幅広く対応致します

《確認必要事項》

- ・部屋内寸(**W*** **D*** **H**) *現地調査も承り☑
- ・設置環境(個室の場合は室内設置、多床室の場合は屋外設置を推奨)
- ・電源(基本的には**AC100V**対応、**200V**対応も可能)
- ・吸気口設置工事も承り☑